



「あわ・おやこのまなびば」代表 妹尾万純さん
柊摩くん(しゅうま/1歳)と咲菜ちゃん(えま/4歳)

見守り合いながら、支え合いながら子育てできる居場所です



あわ・おやこのまなびば (阿波市市場町)

「あわ・おやこのまなびば」は、阿波市市場町の田園に囲まれた個人宅で「自由に遊び、自由に学ぶ、学び合いの場」をテーマに、大人も子どもも安心して過ごせる「親子の居場所」として活動を続けています。

この活動は2023年4月から開始し、赤ちゃんから小学生までの子どもたちと、その保護者を対象に、自然体験遊び、食育体験、子育てをテーマにした研修会、子育

て家族の交流などを行い、年間で延べ60組の家族が集まっています。

取材に伺った日は初夏の穏やかな日差しと涼しい風が心地よく、庭に張られたテントの中から代表の妹尾万純さんと、そのお子さん二人が笑顔で迎えてくれました。

「毎週金曜日は、『親子の居場所・畑のまなびば』としてこの場所を開放しています。この広い庭に畑をつくり、季節の野菜を



みんなで植え、収穫して食べたり、時には手入れを忘れて収穫できなかつたりと、失敗しながら色んなことを体験し、学んでいます。また、みんなでつくったツリーハウスで遊んだり、虫取りをしたりと、集まった親子は自由にのんびりと過ごしています。子どもたちが夢中で遊んでいる間は、お母さん同士でたわいもない話を楽しんでいます。今日は4組の親子が集まる予定ですが、まだ来ませんね。みんな自分たちの都合に合わせてのんびりとやってきます」と妹尾さんはい

つもこんな感じだと笑います。

そんな妹尾さんですが、この活動を始めるまでは子育てに悩んでいたと言います。「今でこそ5人の子どもたちと毎日楽しく過ごしていますが、一人目、二人目の子育て中は遊びに行く場所や、助け合える仲間、気軽に相談できる場所もなく、楽しいだけではない子育てをしていました」と当時を振り返ります。

それでも自然の中で子どもたちをのびのびと育てたいと考えていた妹尾さんは、自然体験ができる団体や、親子で楽しめる居場所を探して参加してきたそうです。しかし、どこも家から遠く、移動が大変だったと言います。

「わたしも含め、お母さんたちは子どものために自分のことは後回しにしがちです。お母さんこそ毎日を楽しみ過ごし、心に余裕を持って子育てをしたいという思いがあるはず。その思いをかなえるため、阿波市の豊かな自然や、人や地域とのつながりを生かし、いろんな体験や、学びができる居場所をつくりたいと、この活動を始めました」と妹尾さん。(右ページに続く)



講師を迎えての子育て座談会（はぐみクラブ）



小麦の収穫（サロン美緑）



ダイコンの漬物づくり（畑のまなびば・ニコニコ子ども食堂）



川遊び（穴吹川）



お絵かき教室（terra小屋）

みんなの居場所は みんなの手で

そして、妹尾さんの思いに共感するメンバーが集まり「あわ・おやこのまなびば」を立ち上げました。メンバーそれぞれが知り合いや、団体に協力を呼びかけ、初めてのイベント「夢見る小学校」の上映会を開催。この上映会をきっかけに仲間が増えていきました。

「親子の居場所」以外にも、月に一回地域に向き、子育て支援にかかわる団体との交流イベントも開催しています。

子どもたちの居場所づくりに取り組む「terra小屋」での木工教室、夏休みの

工作や勉強会、土成町の住民団体「サロン美緑」との共催で無農薬の小麦の種まきから収穫、手打ちうどん体験。「ニコニコ子ども食堂」での親子料理教室など、地域の皆さんに協力してもらい、多世代とのつながりづくりも積極的に行っています。昨年度は、はぐみ徳島の「はぐみクラブ」に参加し、講師を招いての子育て座談会や、リミック、手打ちうどん体験を実施してもらいました。

妹尾さんは「ここでは地域の皆さんと一緒にお母さんたちも楽しむことができるので、こんなことやってみたかった、こんなことができて楽しかったと笑顔になってくれることがうれしいです。特に子どものために頑

張っているお母さんには「大人が何かをさせようと頑張らなくても、子どもたちは楽しいことを見つける天才です。見守っているだけで大丈夫』ということを伝えています。5人の子育て経験のアドバイスもできるので、この居場所で子育てを楽しむきっかけを見つけてほしいです」と話します。

産前、産後のママたちを 支えたい

「あわ・おやこのまなびば」では新しい取り組みにチャレンジしようとしています。プレママや、赤ちゃん連れのママを対象にした「ママカフェ」です。ここでは妊婦さんが先輩ママに相談できたり、産後すぐ

の子育てを手助けしたり、お茶を飲みながら気軽におしゃべりできる居場所を計画中だそうです。

一人の母親の思いが仲間をつなぎ「あわ・おやこのまなびば」で子育て中の親子をつなぎ、地域へと広がっています。妹尾さんは「これからも多世代の交流の機会を増やし、みんなでこの活動を続けることができると嬉しいです」と畑で遊ぶ子どもたちを見守りながら話してくれました。

「あわ・おやこのまなびば」のイベントや活動内容は
Instagramでお知らせしています。
興味がある方はInstagramから
DMでお知らせ下さい



Instagram



後列左から、来田美晴さん（ニコニコ子ども食堂）、妹尾柊摩くん、妹尾万純さん、妹尾咲菜ちゃん、黒川理佳さん（terra小屋）。前列左から、吉野里咲ちゃん、原田希岬ちゃん、原田裕子さん